

平成29年度 第6回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：平成30年3月20日（金）

15：00～17：00

場所：保健相談センター201会議室

【出席者】

委員	植松慶子、梅田眞司、栗山明郎、三部雅世、 前野佳三、森田壽、山田信江
事務局	伊藤教育長、岡田部長、金指次長、中込課長、小林課長、西海主幹、 押方係長、小菌副主幹、谷田主事

【議事】

- (1) 各係より平成29年度事業の報告
事務局より説明

委員：家庭教育学級で保育ボランティアがあるといいと思うが、以前は保育ボランティアをお願いしていたと聞いた。その団体はどうなっているのか。

事務局：保育ボランティアをトマトクラブをお願いしていたことがあったが、その団体は解散してしまった。現在は、PTAの有志の方々が保育ボランティアをしている。家庭教育学級の案内を出す際に、各園・各校で保護者ボランティアを募れるようにしていきたい。

委員：家庭教育学級の内容をPTAの方が決める際に、家庭教育としてふさわしくない内容や講師を選んでしまったりしないのか。どのように教育委員会で管理しているのか。

事務局：家庭教育学級を担当しているPTAの成人委員の方々には、家庭教育学級とはという内容で研修会を実施しており、講師のリストも参考にお渡ししている。成人委員の方々が講師を発掘してくることもあるが、各学校には担当職員を市教委から1名つけており、市教委担当者と成人委員とで講座内容を検討しているため、そのようなことは生じていない。

委員：家庭教育の3本柱は来年も同じなのか。

事務局：基本的なスタンスは変わらない。「人権教育の推進」「子どもの自尊感情育成」「基本的生活習慣の育成」の3本柱の考えをもとに、成人委員さんと講座や講師を選んで学んでいけるようにしている。

委員：あそびっ子クラブで行われている「おはなしであそぼう」は具体的にどういった内容なのか。

事務局：単に読み聞かせるのではなく、本に出てくるものを探すなど、「おはなし」に参加して楽しむことができる読み聞かせとなっている。

- 委員：あそびっ子クラブ・まなびっ子と学校応援団の関りは。
- 事務局：学校応援団にあそびっ子クラブが含まれている。あそびっ子の企画運営を学校応援団に任せている。まなびっ子については現在教育委員会が主導で実施しているが、学校応援団へ移行する計画となっている。
- 委員：まなびっ子は子どもたちが家に帰る前に宿題ができるので、勉強をしながら遊ぶという流れが身につく良い事業だと思う。学校によっては参加者が少ない。これはなぜか。できるだけ多くの子供たちが参加できるよう工夫してほしい。
- 委員：勉強できる習慣が着くと良い。放課後の過ごし方が多様化しているが、勉強の習慣が身についていない子は特に利用を促してもらいたい。
- 事務局：まなびっ子の開催教室は、各校の空き教室となっている。参加者の多い学校は、昇降口前の教室で開催していることが多く、少ない学校は4階の図書館など。子どもたちが下駄箱へ行く前に立ち寄ることができる学校は参加者が多い傾向にある。校長会や教員の集まる研修会などを用いて、学校全体に周知できるようにしたい。
- 委員：えびなっ子スクールで行われるカローリングについて。これはどのように実施するのか。
- 委員：コミセンに常設されているのを活用する。
- 委員：オリンピックの影響で、カーリングが注目されている。子どもたちがこのような遊びをできるのはとても良い。続けてもらいたい。
- 委員：指導者がついて実施している。コミセンは冷房もつくので良い環境で行えている。
- 委員：成人式について。近隣市と比べて、海老名市の参加者数 903 名、市内在住者の約 70%は多いのか。
- 事務局：海老名市は文化会館の収容人数が 1100 人であるため、結果的にちょうど良い人数で毎年開催できている。ちなみに近隣市である厚木市は 2 回に分けて行っている。
- 委員：成人式に行こうと関心を持っている若者が多いのは良いことだ。
- 委員：文化財係の報告にある、河原口坊中遺跡について。これは歴史的に重要なものであると思う。展示会の記事が読売新聞に掲載されていた。新聞の影響はあるか。
- 事務局：神奈川新聞、読売新聞、タウンニュースの記事を読んで来館しましたという方がいた。新聞記事を目にして来館されている方がいるので、掲載していただけるのはありがたい。
- 委員：坊中遺跡はとても良い遺跡なので、是非年に 1 回は企画展を行ってもらいたい。
- 委員：駅前の開発が進んでいるが、何か重要な遺跡は出たりするのか。

事務局：場所によるが、坊中遺跡は、相模縦貫道の調査で出てきたものなので、大規模な調査がないとあのようなものの発見は難しい。

委員：歴史資料収蔵館の閲覧用タブレットについて、とても良いと思う。利用はどうか。

事務局：年齢層が高い利用者が多いため、タブレットの利用は少ない。

委員：無形文化財などへの助成支援について、はやし保存連絡協議会への補助金が少ないのではないか。

事務局：一律で活動費の補助を行っている。また、地域に根差したものなので、自治会等からも補助を受けていると伺っている。

委員：文化団体等への助成事業は市民音楽祭への助成も含まれているのか。

事務局：この事業の中には委託団体は含まれていない。

委員：動物ふれあい推進事業について、これは癒しを与える良い事業だと思っている。障がいのある方にはヤギが人気と聞いたことがあるので、ポニー以外にヤギはいたりするのか。

事務局：残念ながらヤギは飼育していない。

委員：学校にもポニーを派遣してもらっている。今年はバッティングしてこられない学校もあったそうだ。

事務局：声がけいただいた学校等には可能な限りいかれるようにしている。

委員：先着順なのか。

事務局：指定管理者に確認していただきたい。

委員：コミセンのカローリングのローラーにひびが入っているものがある。まっすぐに進まないので、すぐに直してもらいたい。もしくは取り替えていただきたい。

事務局：所管へ伝える。

(2) 平成 30 年度社会教育団体への補助金について（非公開）

事務局より説明

→教育委員会及び文化スポーツ課の事業について承認された。

(3) その他

①海老名市立図書館指定管理者に対する第三者評価の結果報告について

事務局より報告

委員：CCC と TRC の共同事業体の関係は？

事務局：毎月 1 回のモニタリングは CCC・TRC 共同体と行っている。2 社の取り決めについては CCC と RTC の問題である。教育委員会としては共同体に指定管理をしてもらっているので問題はない。

委員：法令順守等に関する評価について高いレベルで提案事項を履行していると評価されているが、ユニバーサルデザインについては改善が期待されると記されていた。指摘された点はどこか。

事務局：障がい者用のベッドをトイレに設置など対応しているが、障がいのある方は、様々な方がいられるので、より高いレベルでの対応を期待されたもの。例えば、検索機について、どなたでも利用できる高さに取り付けているが、車いすの方にもより使いやすい高さや器具の設定について意見があったので、対応を検討している。また、車いす席の設置など。ユニバーサルデザインに向けての取り組みに限りはないので、より高い目標に向けて進むようにしたい。

委員：図書館はいつもすごくにぎわっている。利用者拡大につながるサービスとしてコーヒーショップなども含まれているのか。

事務局：市民の要望を取り入れてカフェを導入した経緯があり、利用者からは良いと評価されている。

委員：混雑しているにもかかわらず、長時間利用する人などがいる。そのような利用者への対応は指定管理者任せなのか。

事務局：混雑時期、学習席は時間入替制を導入したり、PC席を導入するなど利用者目線で様子を見ている。

委員：コーヒーを飲みながら読書したい方、図書館の本と自分のPCを利用して調べ学習する方、内容についてお喋りしながら読書をしたい方など、利用者の立場に立って試行錯誤してくれていると感じている。

委員：リニューアル以前の図書館では、新聞置き場に男性が沢山居て、利用しにくい雰囲気だったが、新聞を読むスペースなど整備されてからは使いやすくなった。

委員：暖房器具の設置についても考えられている。

委員：外部評価について、結果は公開されているのか。

事務局：図書館の第三者評価については企画財政課が担当しており、評価結果等については公開しておらず、求めに応じて対応する予定。

委員：第三者評価をする会社はどこか。年間を通してみられているので、費用も掛かるように思う。他の市内の施設についても同じように第三者評価を受けているのか。

事務局：その通り。総合システム研究所株式会社が行っている。

②委員から

委員：教育委員と社会教育委員の交流を行うことで、より建設的な会議になるとおもうので、検討していただきたい。

事務局：教育委員から是非にと意見をいただいている。日程を調整したい。

◇終了